

2019年度 人と地域共創センター公開講座(春・夏)

# AI/IoTセンサのしくみを知ろう(基礎編)

## 第7回 Wi-Fi無線をつかう1

---



徳島大学技術支援部

辻 明典 博士(工学)

E-mail: [a-tsuji@is.tokushima-u.ac.jp](mailto:a-tsuji@is.tokushima-u.ac.jp)

# 講座内容

- ▶ 講師: 辻 明典(徳島大学技術支援部)  
桑折 範彦(徳島大学名誉教授)  
川上 博 (徳島大学名誉教授)
- ▶ 土曜日 : 10:00~11:30
- ▶ 日程 :
  - ① 5/11 ガイダンス, PC環境設定
  - ② 5/18 プログラミングをはじめよう
  - ③ 5/25 LED を光らせる(川上先生)
  - ④ 6/ 1 温度・湿度をはかる(桑折先生)
  - ⑤ 6/ 8 距離をはかる
  - ⑥ 6/15 動きをはかる
  - ⑦ 6/22 Wi-Fi無線をつかう1
  - ⑧ 6/29 Wi-Fi無線をつかう2
  - ⑨ 7/ 6 まとめ, 振り返り

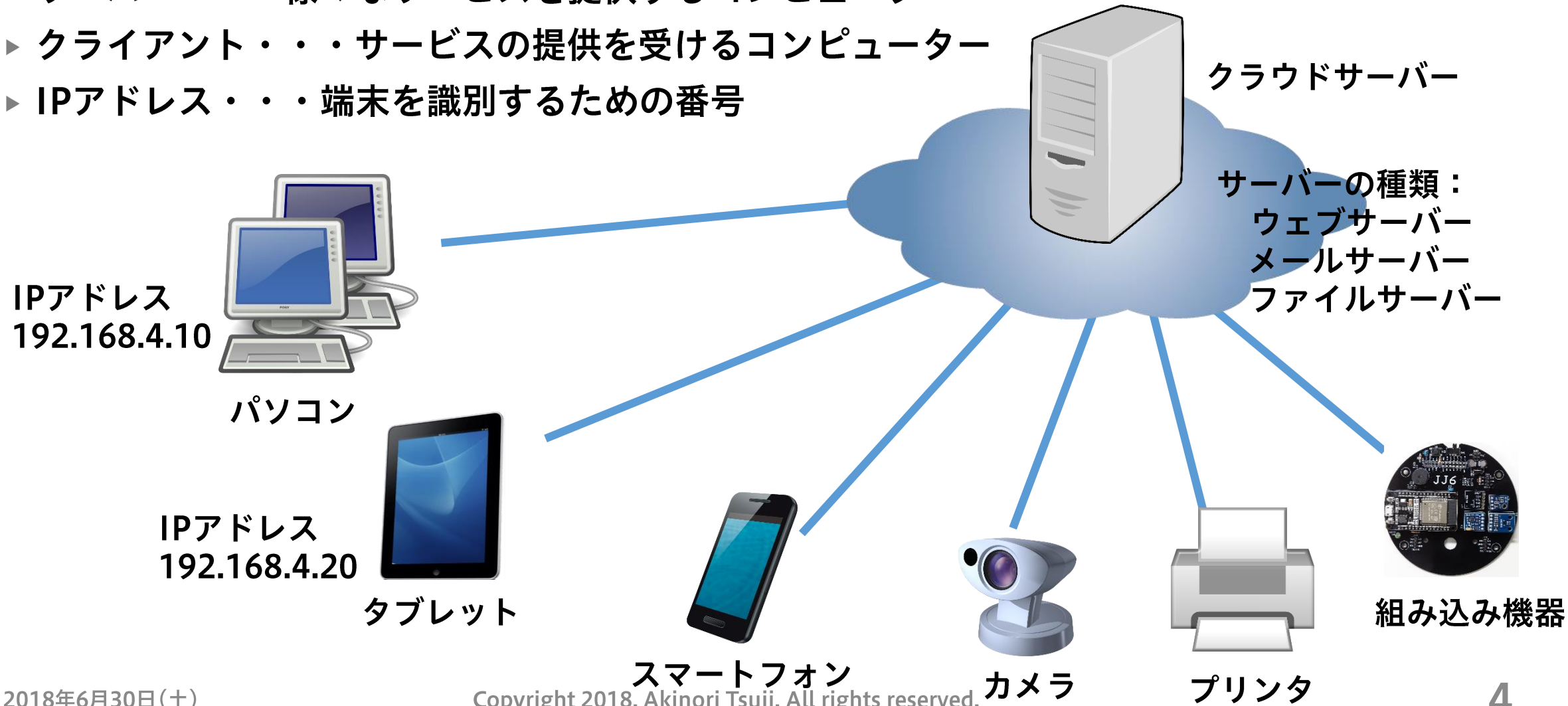
# 概要

---

- ▶ ネットワーク
  - WiFi無線
- ▶ ネットワーク構成
- ▶ リングLED取り付け
- ▶ 演習
  - Wi-Fi無線とLED
  - Wi-Fi無線とスイッチ
  - Wi-Fi無線と温湿度
  - Wi-Fi無線とスピーカー
- ▶ 考えてみよう

# ネットワーク

- ▶ サーバー・・・様々なサービスを提供するコンピューター
- ▶ クライアント・・・サービスの提供を受けるコンピューター
- ▶ IPアドレス・・・端末を識別するための番号



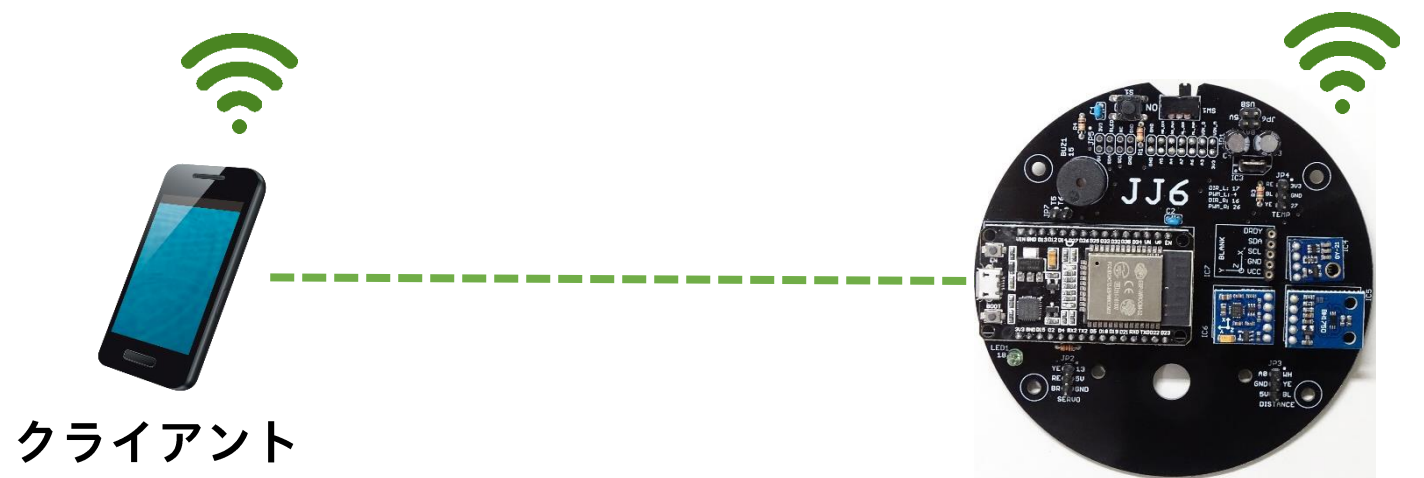
# Wi-Fi無線

- ▶ Wi-Fi無線・・・パソコンやタブレット等，ネットワーク機器を無線の電波でインターネットに接続できる



# ネットワーク構成(方式1)

## ▶ 方式1・・・インターネット未接続

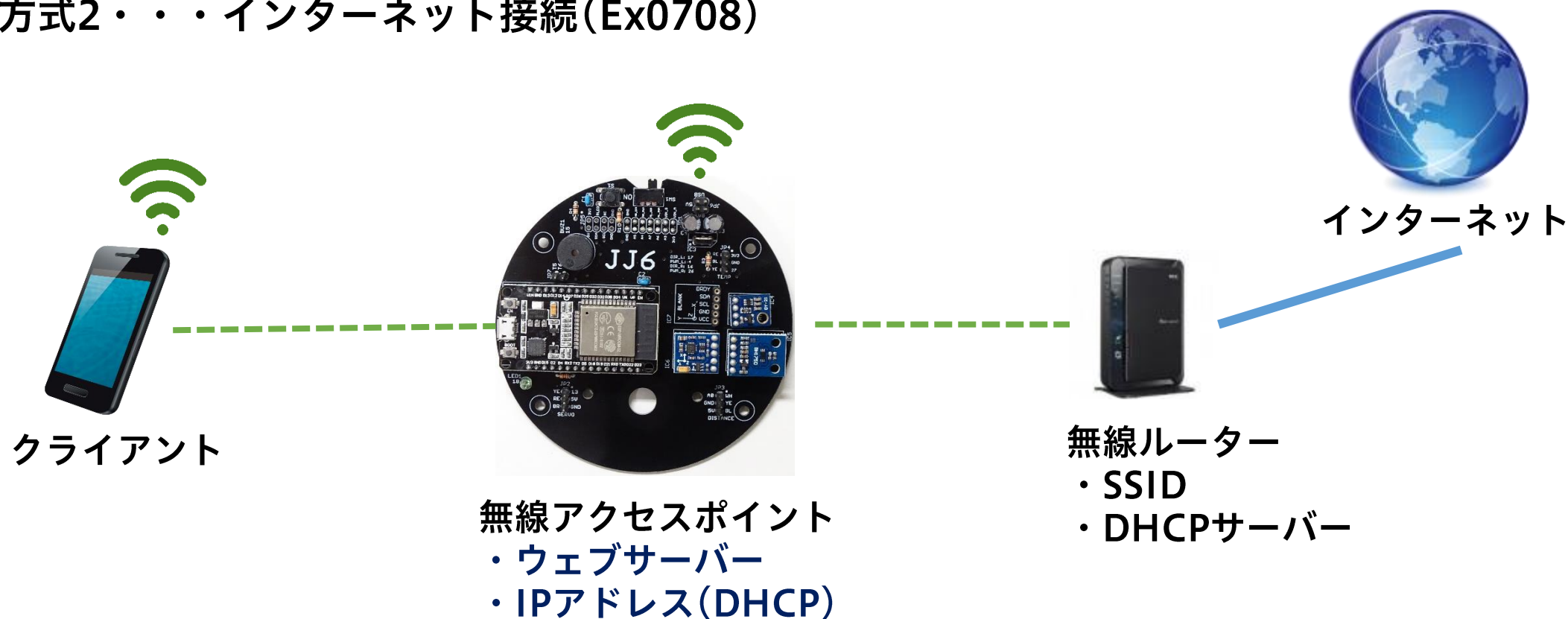


無線アクセスポイント  
兼ルーター

- ・ SSID : jj6-<NN>
- ・ IPアドレス  
192.168.4.1
- ・ ウェブサーバー

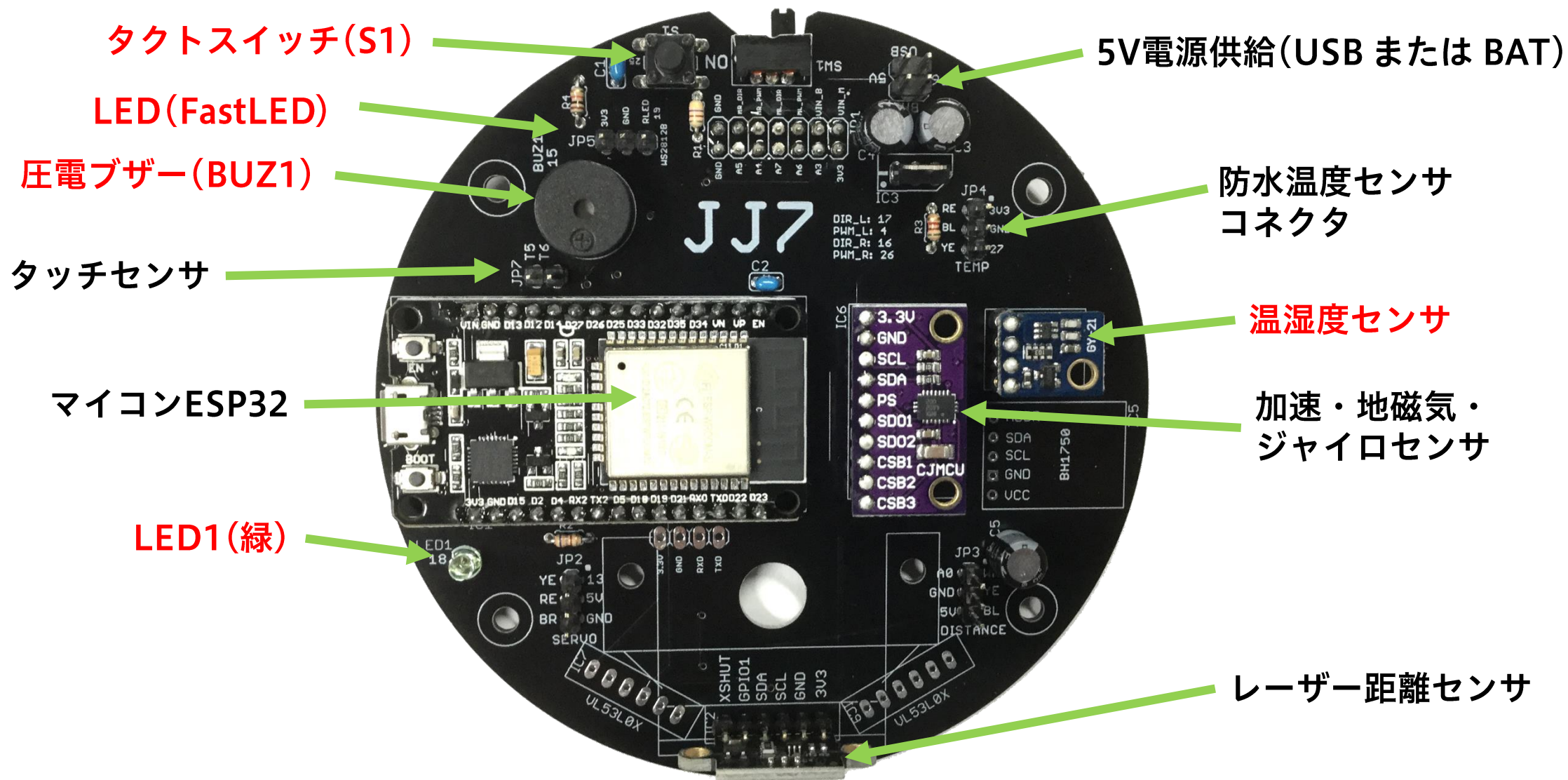
# ネットワーク構成(方式2)

## ▶ 方式2・・・インターネット接続(Ex0708)



※ SSID: Service Set Identifier  
無線LANを識別するための名前

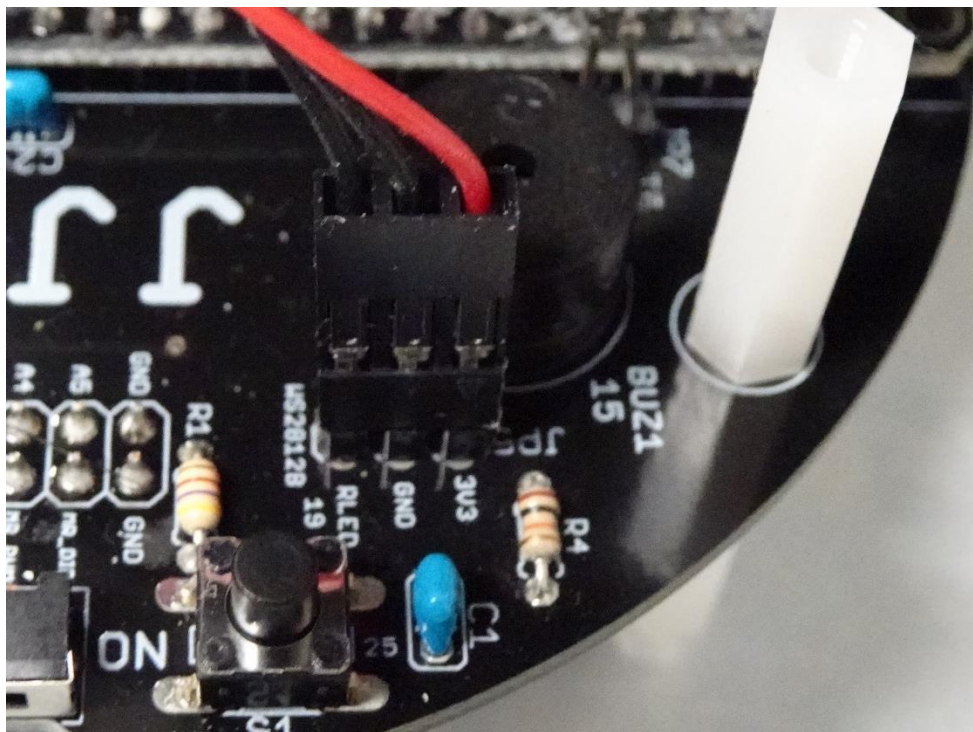
# マイコンボード(JJ7)



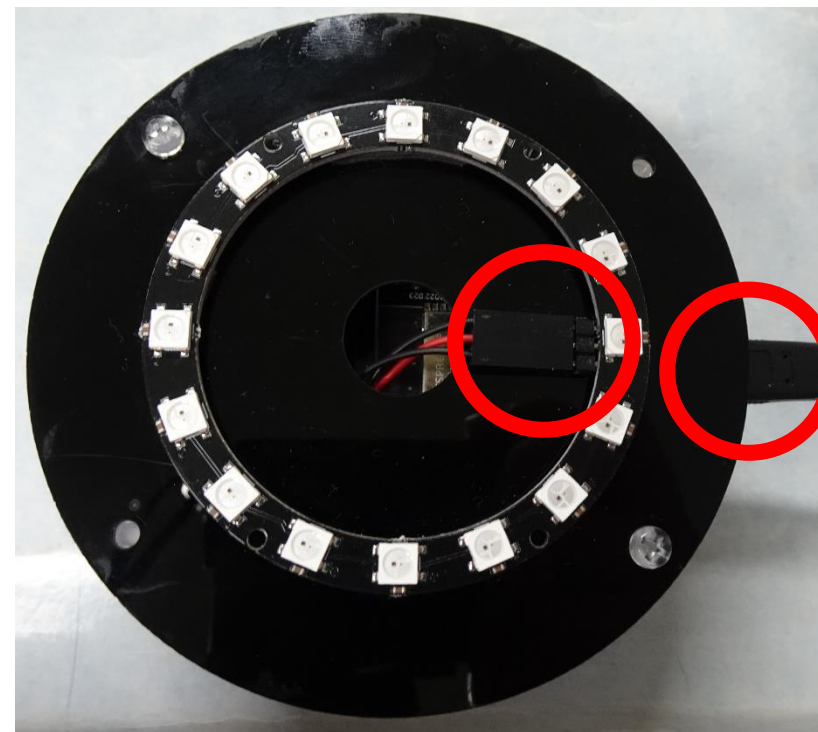


# リングLEDの取り付け

JP5(3V3:赤, GND:黒, RLED:黒)

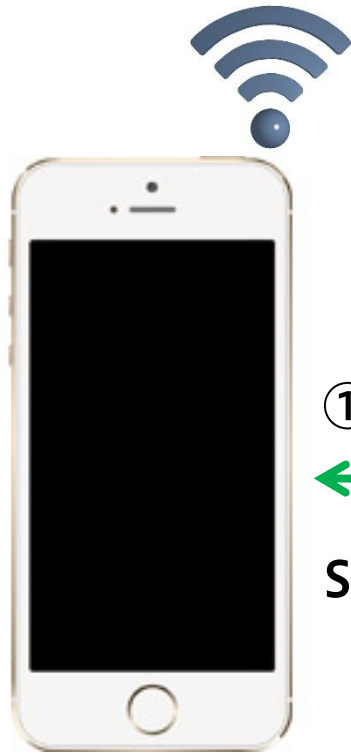


ネジで4カ所取り付け



USBコネクタとLEDコネクタの位置関係

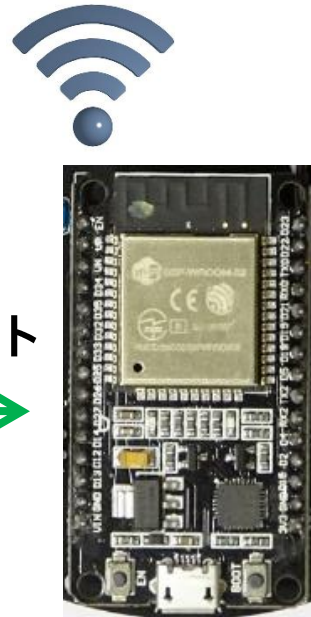
# Ex0701 : スイッチによるLEDのON/OFF



① WiFiアクセスポイント



SSID: JJ7-nn



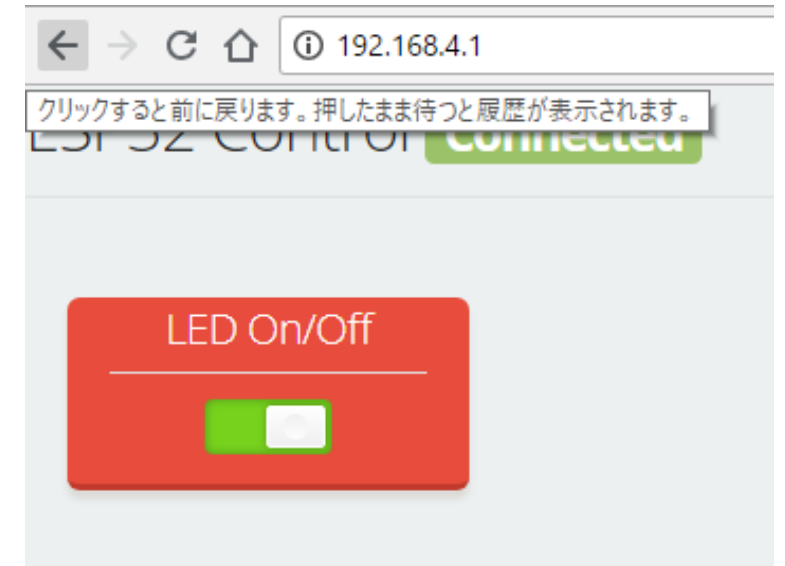
② ブラウザ表示  
192.168.4.1

③ LEDのON/OFFボタンを表示

スイッチでLEDをON/OFFする

Pin 2: 青色LED

Pin18: 緑色LED



# WiFi設定の確認(方式1)

## ▶ WiFi設定, 方式1に対応するコード

```
#include <WiFi.h>
```

```
const char *ssid = "JJ7-";
```

```
const char *password = "";
```

```
const IPAddress ip(192, 168, 4, 1);
```

```
const IPAddress subnet(255, 255, 255, 0);
```

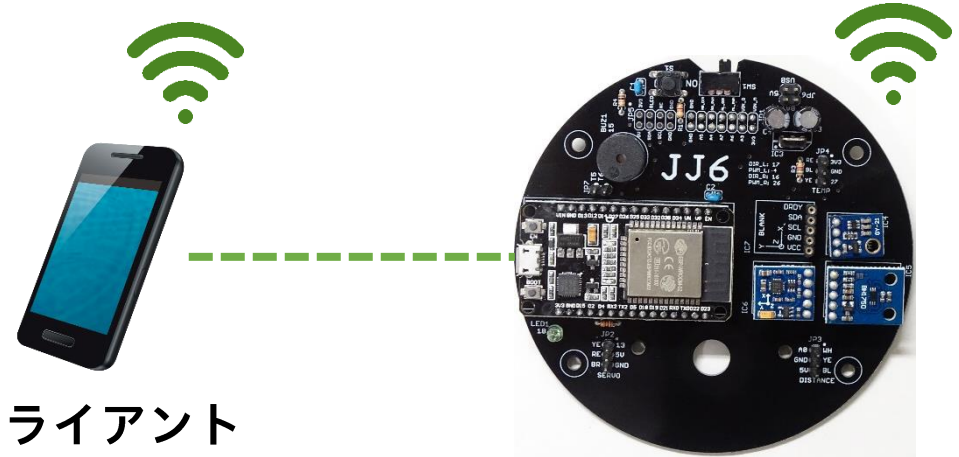
```
WiFiServer server(80); // ウェブサーバー80番ポート
```

```
setup():
```

```
WiFi.softAP(ssid, password);
```

```
WiFi.softAPConfig(ip, ip, subnet);
```

```
IPAddress myIP = WiFi.softAPIP();
```



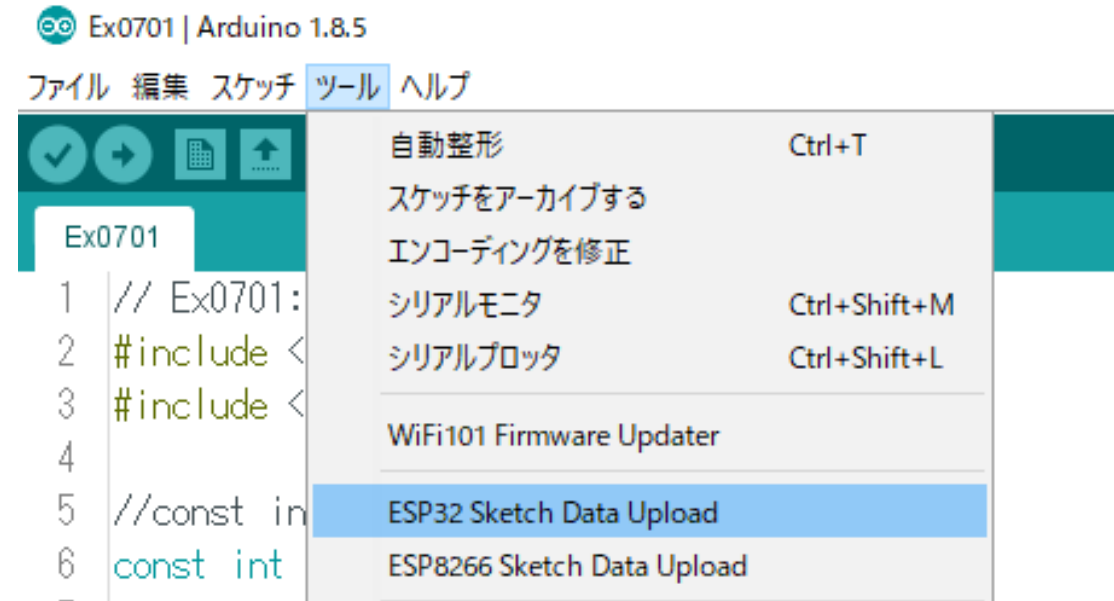
クライアント  
192.168.4.2

無線AP, ルーター  
SSID: JJ7-  
Password:  
192.168.4.1

ウェブサーバー  
192.168.4.1:80

# Ex0701 : スイッチによるLEDのON/OFF

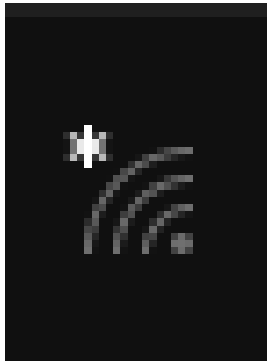
- ▶ ツール→ESP32 Sketch Data Uploadを実行(ESPUIライブラリを使用する最初の1回のみ)。
- ▶ **ssid, password**を設定する。
- ▶ スケッチの書き込み。
- ▶ 無線AP(**SSID**)に接続する。  
接続時に設定したパスワードを入力する。
- ▶ ブラウザに**192.168.4.1**を入力してウェブサーバーに接続する。
- ▶ スイッチをクリックして, LEDのON/OFFを確認する。



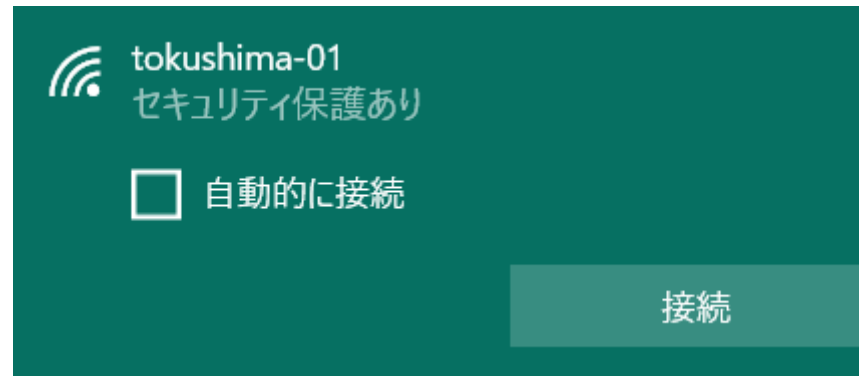
# 無線APの接続

## ▶ 無線APの接続 | プログラムを書き込む毎に接続作業が必要

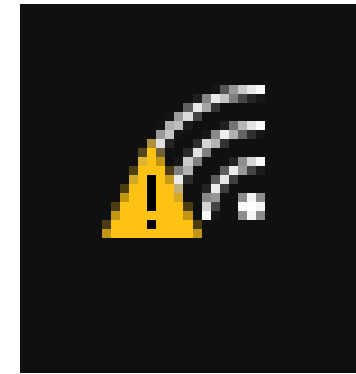
① タスクバーの無線アイコンをクリック



② 各自のSSIDを選択して接続



③ 無線接続が完了



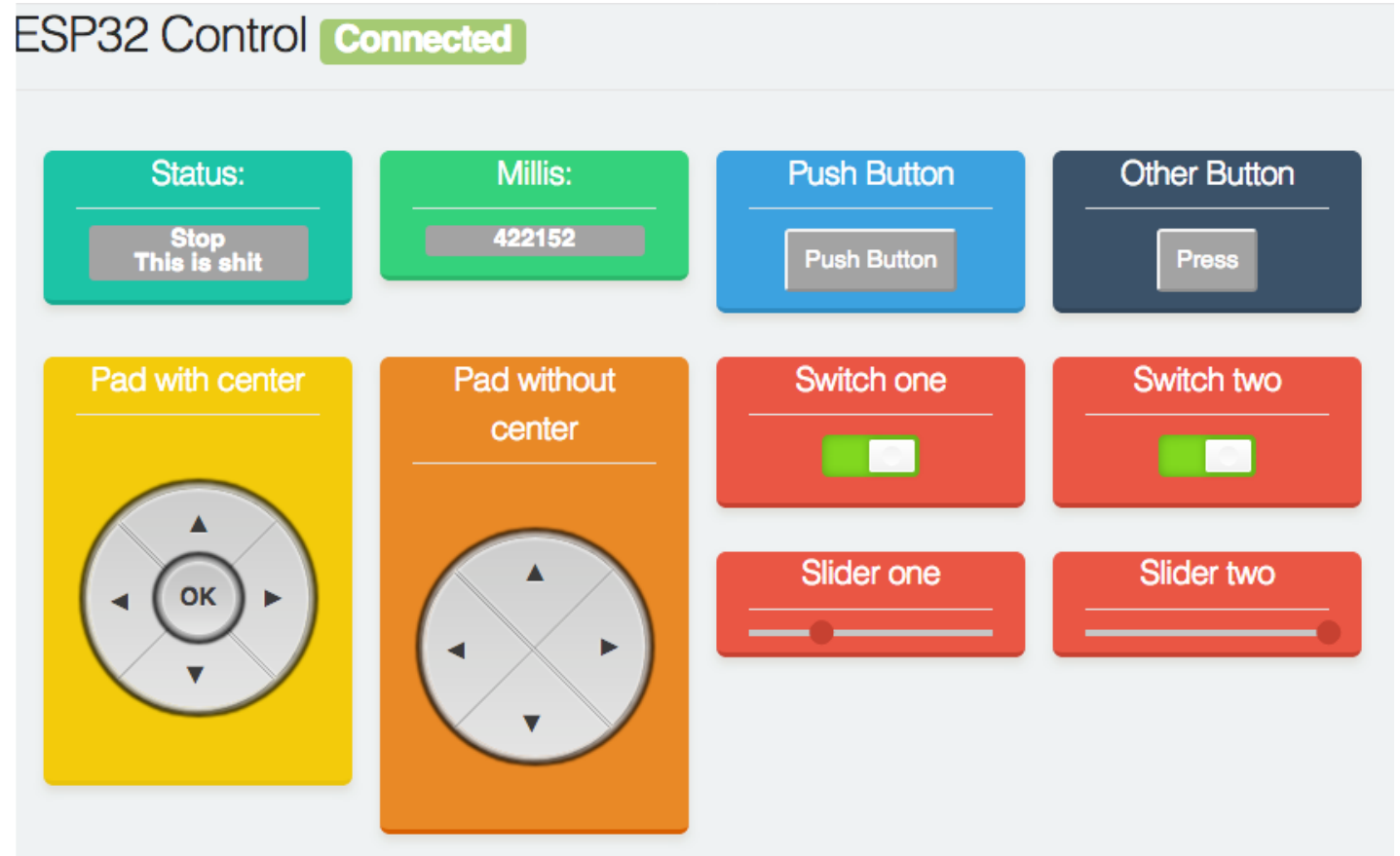
\* インターネットに接続しないため！が表示

# ESPUIライブラリ

## ▶ ウェブ上のユーザインタフェース(UI)作成

### UIの種類：

- ▶ ラベル
- ▶ ボタン
- ▶ スイッチ
- ▶ コントロールパッド
- ▶ コントロールパッド  
(中央ボタン付き)
- ▶ スライダー
  
- ▶ 背景の色や文字を変更できる。
- ▶ イベントハンドラーにより動作を指定できる。



# イベントハンドラー

- ▶ あるイベントに対して実行される関数

```
void setup() {  
  . . .  
  ESPUI.switcher("LED On/Off", true, &Switch, COLOR_NONE);  
  ESPUI.begin("ESP32 Control");  
}
```

```
void Switch(Control sender, int value) {  
  switch (value) {  
    case S_ACTIVE:  
      digitalWrite(LED_PIN, HIGH);  
      break;  
    case S_INACTIVE:  
      digitalWrite(LED_PIN, LOW);  
      break;  
  }  
}
```

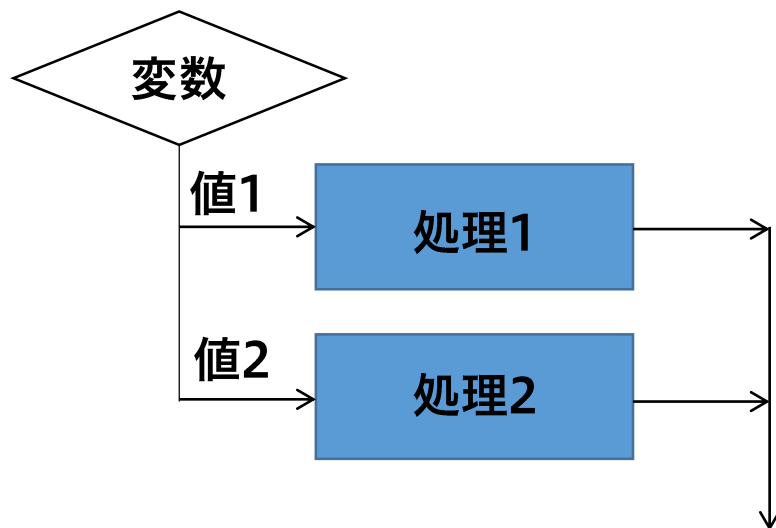
- ▶ スイッチの操作(イベント)により、Switch関数が呼び出される。
- ▶ スイッチの状態(value)が、ON (S\_ACTIVE)または、OFF(S\_INACTIVE)を判定して、LEDをON/OFFする。

※ S\_ACTIVE, S\_INACTIVEなど、ESPUIライブラリで定義されている。

# スイッチ (switch) 文

## ▶ 条件分岐・・・スイッチ文

### スイッチ文のフローチャート



### 構文

```
switch (変数) {  
  case 値1 :  
    <処理1>  
    break;  
  case 値2:  
    <処理2>  
    break;  
}
```

### 実際のコード

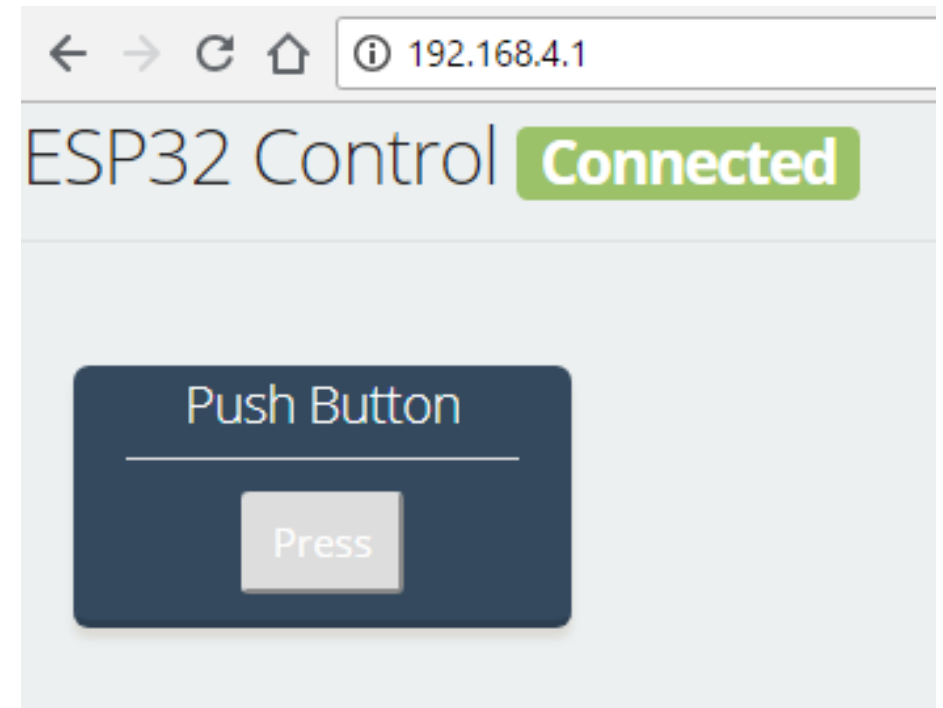
```
switch (value) {  
  case S_ACTIVE:  
    digitalWrite(LED_PIN, HIGH);  
    break;  
  case S_INACTIVE:  
    digitalWrite(LED_PIN, LOW);  
    break;  
}
```



## Ex0702 : 押しボタンスイッチによるLEDのON/OFF

- ▶ ボタンが押されているときLEDがON。押されていないときLEDがOFF。

```
void setup() {  
  . . .  
  ESPUI.button("Push Button", &Button,  
               COLOR_WETASPHALT, "Press");  
  ESPUI.begin("ESP32 Control");  
}  
  
void Button(Control sender, int type) {  
  switch (type) {  
    case B_DOWN: // ボタンが押されている  
      digitalWrite(LED_PIN, HIGH);  
      break;  
    case B_UP: // ボタンが押されていない  
      digitalWrite(LED_PIN, LOW);  
      break;  
  }  
}
```

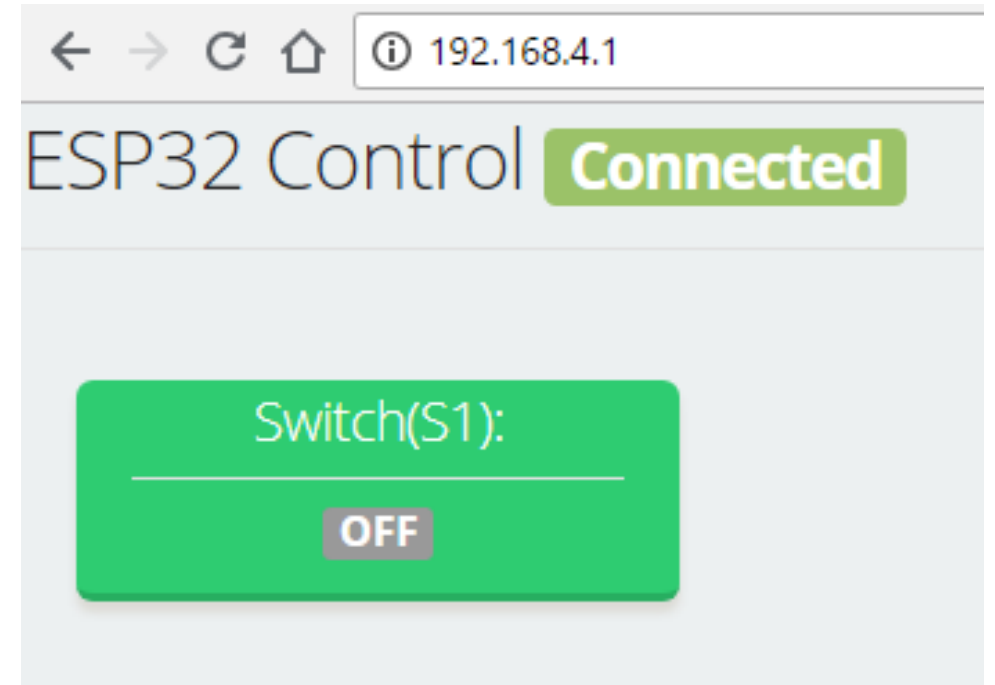


## Ex0703 : ボタンの状態を表示

- ▶ ボタンが押されているときラベルを“ON”，押されていないとき“OFF”
- ▶ 1秒(1000ms) 毎にスイッチの状態を確認

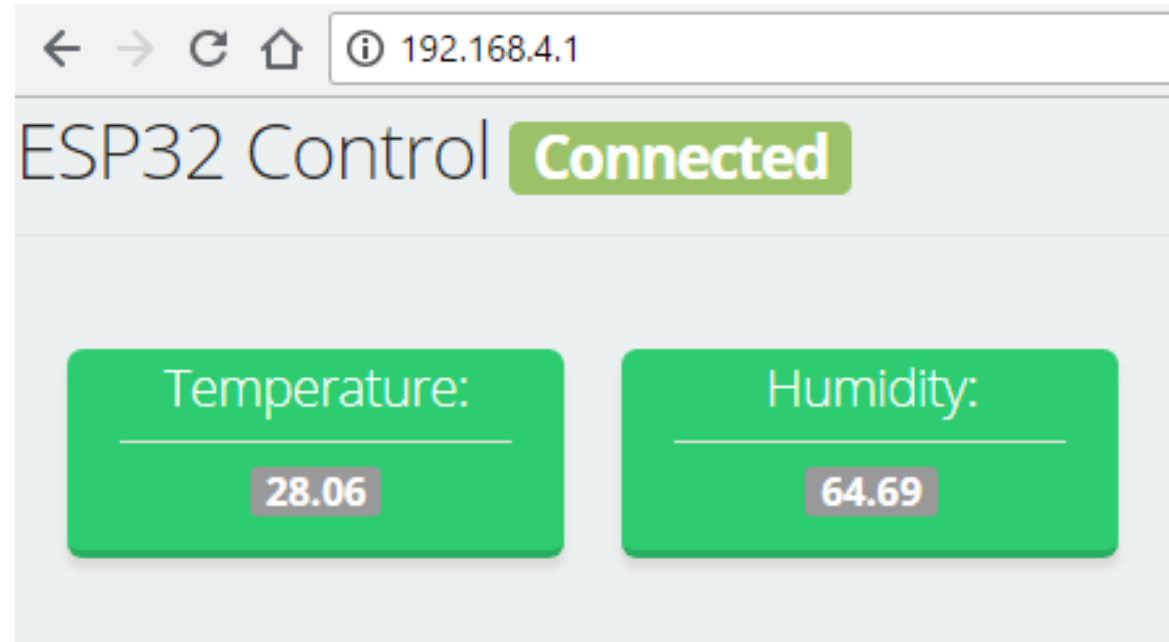
```
unsigned long prevTime = 0;
```

```
void loop(void) {  
  if (millis() - prevTime > 1000) {  
    prevTime = millis();  
    if (digitalRead(SW_PIN) == LOW) {  
      ESPUI.print("Switch(S1):", "ON");  
    } else {  
      ESPUI.print("Switch(S1):", "OFF");  
    }  
  }  
}
```



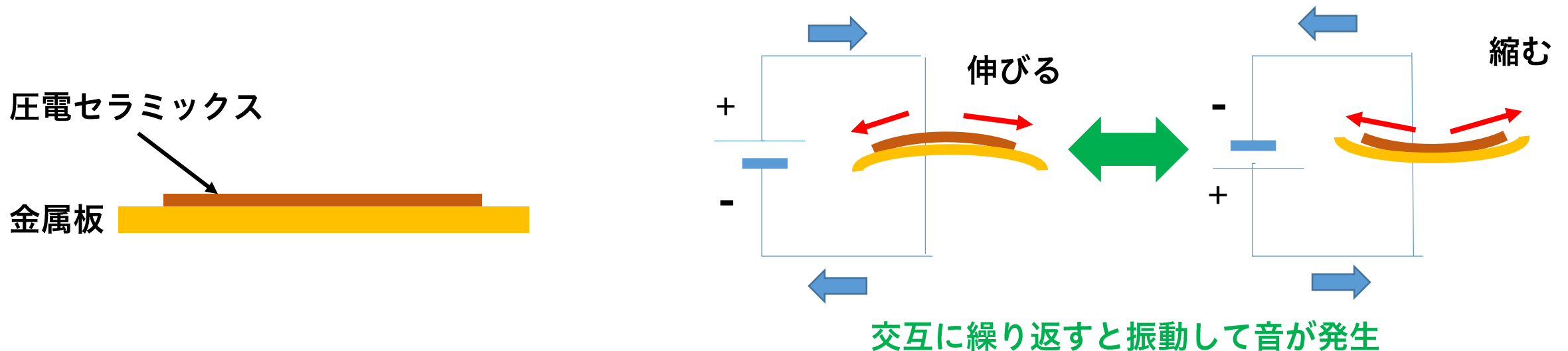
## Ex0704 : 温度・湿度 (HTU21D) をラベルで表示

- ▶ 温度, 湿度, それぞれ5秒毎にデータを更新



# 圧電スピーカー

- ▶ 圧電セラミックス
  - 高純度な酸化チタン・酸化バリウム等を高温で焼き固めた多結晶セラミックス
- ▶ **圧電正効果**：外部から力を加えると電圧が発生
  - 振動や音を電圧に変換
- ▶ **圧電逆効果**：電圧をかけると極性により伸縮
  - 電圧の変化を振動や音に変換



# 周期と周波数

## ▶ 一定の周期で振動する波

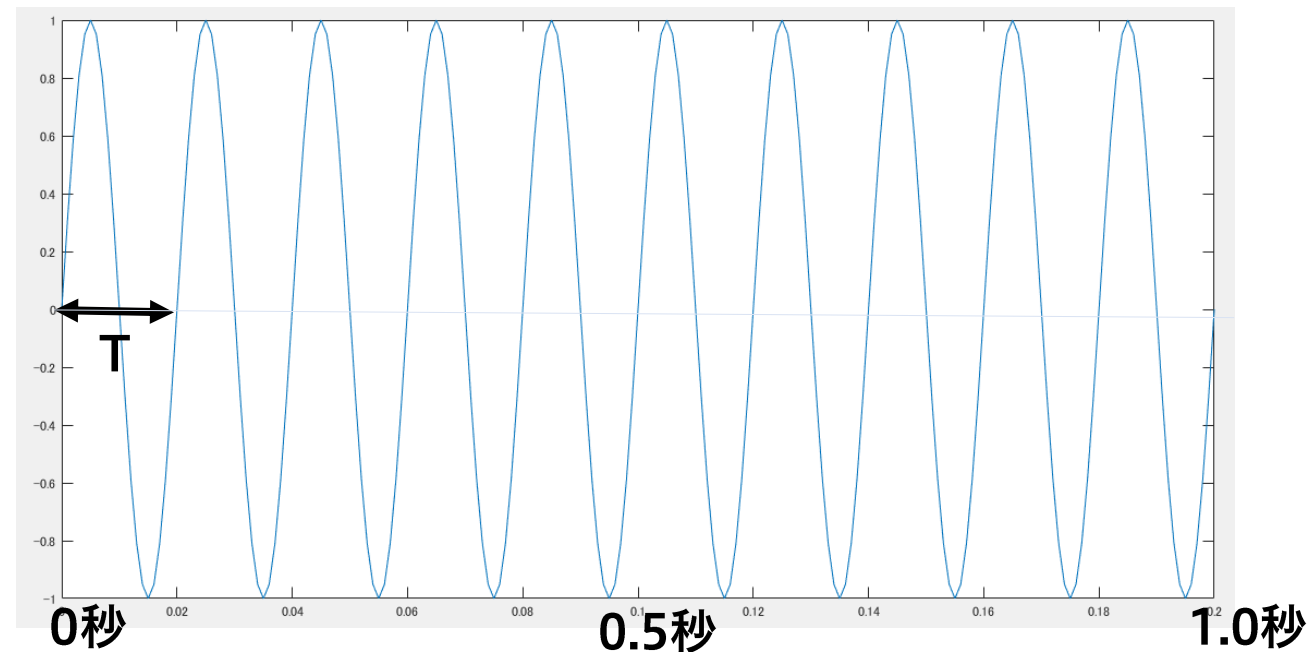
- 周期  $T$  [s] . . . . . 繰り返される波1つの時間
- 周波数  $f$  [Hz] . . . . . 1秒間に繰り返される波の数
- 周期と周波数の関係： $f = 1 / T$

例) 電源の周波数：西日本 60Hz, 東日本 50Hz

**1秒間に10回の波**

周期  $T = 0.1$  [s]

周波数  $f = 10$  [Hz]



# Ex0705 : タイマーでブザーを鳴らす

## ▶ タイマーの設定

- ピン番号 15番
- チャンネル 0
- 精度 13ビット
- 周波数 5kHz

**ledcWriteTone(チャンネル, 周波数)**  
指定のチャンネルに周波数の波形を生成する関数

```
const int SPEAKER_PIN = 15; // ブザー : 15番ピン
#define LEDC_CH0      0 // タイマーのチャンネル0 (0から15)
#define LEDC_TIMER_13BIT 13 // タイマーの精度13ビット
#define LEDC_BASE_FREQ 5000 // タイマーの周波数 5kHz(5000)

setup() :
  ledcSetup(LEDC_CH0, LEDC_BASE_FREQ, LEDC_TIMER_13BIT);
  ledcAttachPin(SPEAKER_PIN, LEDC_CH0);

loop() :
  ledcWriteTone(LEDC_CH0, 440); // トーンの開始 440Hz
  delay(300); // 300ms間, トーンを継続
  ledcWriteTone(LEDC_CH0, 0); // トーンの停止
  delay(1000); // 1秒間をおく
```

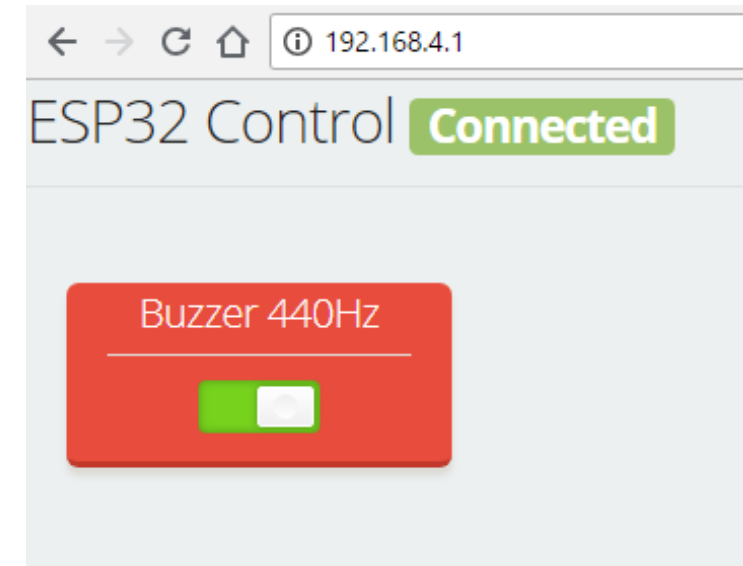
## Ex0706 : ボタンが押されたときブザーが鳴る

- ▶ ボタンが押されたことを検知して周波数440Hzでブザーを鳴らす
  - 5kHzのタイマー(CH0)を使用

```
ledcSetup(LEDCH0, LEDC_BASE_FREQ, LEDC_TIMER_13BIT);  
ledcAttachPin(SPEAKER_PIN, LEDC_CH0);
```

```
ESPUI.switcher("Buzzer 440Hz", true, &Switch, COLOR_NONE);
```

```
void Switch(Control sender, int value) {  
  switch (value) {  
    case S_ACTIVE:  
      ledcWriteTone(LEDCH0, 440); // トーンの開始 440Hz  
      break;  
    case S_INACTIVE:  
      ledcWriteTone(LEDCH0, 0); // トーンの停止  
      break;  
  }  
}
```



**ledcWriteTone(チャンネル, 周波数)**  
指定のチャンネルに周波数の波形を生成する関数

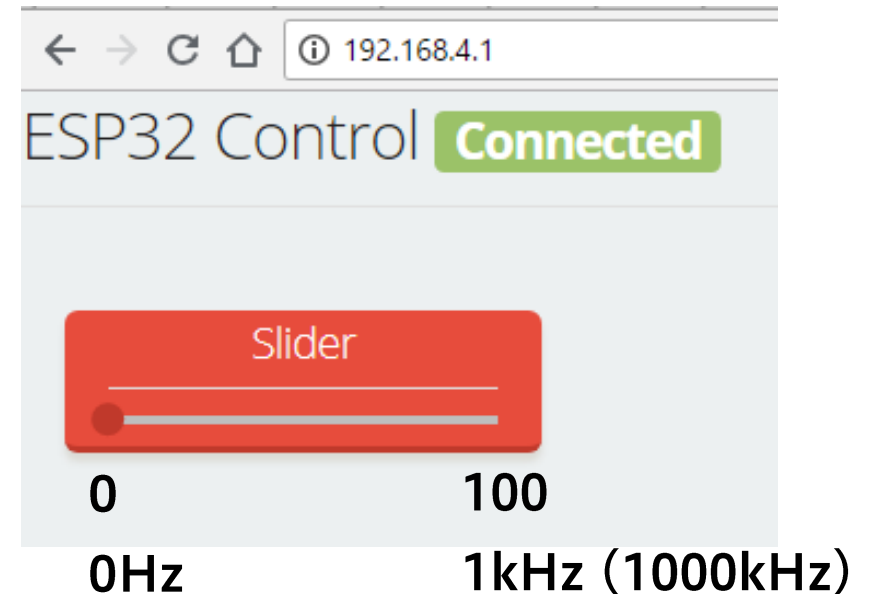
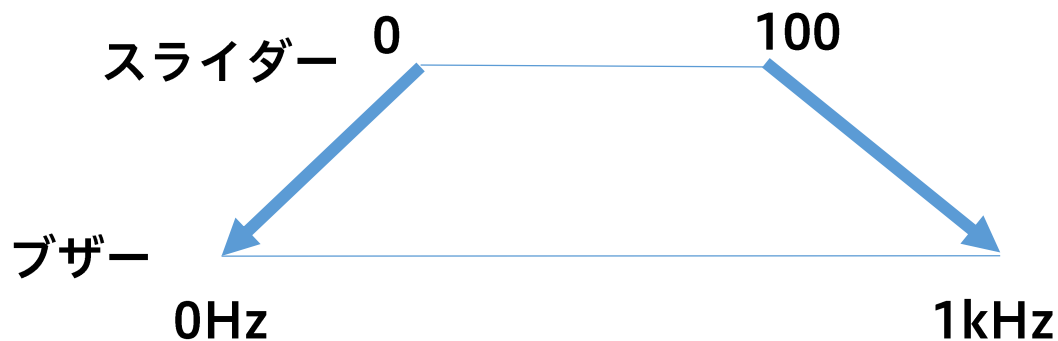
# Ex0707: スライダーによる音の変化

- ▶ スライダーを動かすことで音（トーン）が0Hz～1kHzの範囲で変化

```
ESPUI.slider("Slider", &slider, COLOR_ALIZARIN, "0");
```

```
void slider(Control sender, int type) {  
  Serial.println(sender.value);  
  int n = map(sender.value.toInt(), 0, 100, 0, 1000);  
  ledcWriteTone(LEDC_CH0, n); // 0Hz～1000Hz  
}
```

map関数：ある数値の範囲を別の数値の範囲に置き換える。





## 考えてみよう

- ▶ Ex0701 | 青色LEDに変更
- ▶ Ex0702 | 青色LEDに変更
- ▶ Ex0703 | スイッチを押している間LEDを点灯，離れたとき消灯を追加
- ▶ Ex0704 | 温湿度の更新時間を変更
- ▶ Ex0706 | ボタンを押したときにメロディが流れる
- ▶ Ex0707 | 音の変化する範囲を変更